

第5回 建築・住宅技術

共同研究開発テーマ提案競技（通称：アイデアコンペ）募集

建築研究開発コンソーシアム

建築研究開発コンソーシアムでは、昨年度に引き続き、今年度も建築・住宅技術 共同研究開発テーマ提案競技（通称：アイデアコンペ）を実施致します。

会員の皆様におかれましては奮ってご提案下さいますようお願い申し上げます。

提案要項

1. 趣旨・目的

この提案競技は、研究会 や共同研究の実施など、建築研究開発コンソーシアム（以下、コンソーシアム）の研究開発活動の活性化を目的とした事業です。

提案競技では、コンソーシアム会員との研究会 活動を経て、共同研究体を構築し、建築・住宅技術に関する技術の実用化および課題解決を目指す共同研究につながるテーマを募集します。提案いただく共同研究テーマは次のいずれかに属するテーマとします。

- （１）新しい建築・住宅技術の実用化を目指す開発テーマ
- （２）建築・住宅技術の課題の解決を目指す研究テーマ

「研究会」とは、共同研究への準備段階（事前検討・技術的課題の抽出，etc.）として会員から参加メンバーを募り発足するコンソーシアムの組織体です。入選提案については研究会として約 1 年間継続して活動し、可能であればその後本格的な共同研究に移行して頂きます。

2. 提案部門

課題部門「持続可能な社会実現のための建築・住宅技術～地球温暖化抑止技術～」

この課題は前年度のコンソーシアムの技術動向調査の課題です。共同研究を目指していただきます。調査結果も参考にしてください。

自由部門「上記以外の建築・住宅にかかる技術」

建築・住宅技術に関連するものであれば、分野は問いません。新しい発想で新規性のあるテーマをご提案下さい。

3. 提案図書

提案用紙：規定書式 A4用紙 2枚

後述添付の提案用紙 2枚にご記入下さい。

提案書：書式自由 A4用紙 2枚 縦使い・横使いともに可

アイデアの概要（文章、図、表、写真すべてを含む）を A4用紙 2枚以内にまとめて下さい。書式、体裁は問いません。提案書は文章のほか、図、表、写真を必要に応じて加え、わかりやすくまとめて下さい。

<記載内容>

- （１）提案する技術の内容や分野を適切に表すタイトル
- （２）提案するテーマの概要・要点・新規性等
- （３）提案書へは、氏名等は記載しないで下さい。

ただし、一次審査通過者は、プレゼンテーション用のファイル及び『研究会計画書』を別途ご提出頂きます。『研究会計画書』も審査対象に含まれます。

4. 提案資格

正会員、準会員、学会員 会員名簿（企業名・団体名）はHPに掲載しています。
コンソーシアムの上記会員に限定いたします。

一般の方でも、提案図書提出時までには正会員・準会員の入会手続きを開始される方はご提案頂けません。正式入会は入選後でも構いません。事務局までお問い合わせ下さい。

さらに提案数を下記のように制限致します。ただし、複数の会員が共同で提案される場合は、代表提案者を定めて頂き、代表提案者のみに対して1件をカウントします。

正会員、準会員（法人/団体）：3件/会員

学会員（個人）：1件/会員

5. 提案方法

提案図書は書留郵便にてご郵送下さい。期限内の消印のあるものは受理します。

正会員、準会員の方は必ず連絡担当者の方が取りまとめて、ご提出下さい。

連絡担当者が分からない場合は事務局へお問合せ下さい。

学会員の方は、会員個人よりご提出下さい。

<提出先>

建築研究開発コンソーシアム事務局

〒104 - 6204 東京都中央区晴海1 - 8 - 12 トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階

TEL : 03 - 6219 - 7127

「アイデアコンペ提案」と朱書きして下さい。

6. 提案受付期間

2007年11月15日～2007年12月27日（当日消印有効）

7. 審査委員会、審査方法、評価基準

<審査委員会>

コンソーシアム内部において、審査委員会を設置いたします。

<審査方法>

一次審査：提案図書による書面審査（2008年2月上旬予定）

二次審査：一次審査通過者の発表に基づく審査（2008年3月中旬予定、会員への公開審査）

<評価基準>

主として下記の項目を審査致します。

新規性

実用性

実現可能性

建築や社会に対するインパクト

8. 表彰および賞金

提案に対し、下記の賞を入選作として選定致します。

CBRD大賞（1点）：賞金50万円

最優秀賞（1点）：賞金30万円

優秀賞（数点）：賞金10万円

また、惜しくも選外になった提案にも、甲乙つけがたい場合は審査員奨励賞を贈呈する他、残りの全ての提案には参加賞を贈ります。

審査員奨励賞（数点）：賞金5万円

参加賞 図書カード：3,000円分/点

各賞の数は課題部門、自由部門の合計です。

9. 提案図書、審査結果の公表

審査結果については、2008年3月に発表および表彰を予定しています。また、第二次審査（提案者の発表に基づく審査）は会員に対しては公開審査と致します。入選作の提案図書は、コンソーシアムHP等で公開します。

10. 一次審査通過テーマの研究会計画書提出

一次審査通過テーマは、二次審査時（2008年3月中旬予定）までに研究会計画書を提出して頂きます。

11. 知的財産権等

提案に含まれる知的財産権等は提案者に帰属します。但しコンソーシアムは、入選提案の提案図書の公表及び出版、コンソーシアムの諸活動の告知・発表・PRにおいて、提案図書の使用を提案者に無断で行うことができるものとします。

必ず、提案前に知的財産権等の保全措置は提案者が講じて下さい。

提案にかかる部分の知的財産権等で既にあるものについては提案者自らが確認し、それを確認できる書類があれば添付して下さい。なお、書類の提出がない場合は後日その確認を求める場合があります。

12. 参考

下記の講演会および資料を用意しております。アイデア創出のご参考にして下さい。もちろんご参加されなくてもご提案して頂けます。

< 講演会 >

「持続可能な社会実現のための建築・住宅技術～地球温暖化抑止技術～」動向調査報告会

日時：11月22日（木）

場所：東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟4階フォーラム

詳細&申込み先：<http://www.conso.jp/> 「CONSO ニュース」

< 資料 >

「持続可能な社会実現のための建築・住宅技術」動向調査 報告書（冊子）

申込先：事務局 idea@conso.jp 部数に限りがあります。あらかじめご了承ください。

会員（連絡担当者様）宛てには2007年11月に1部送付する予定です。

過去の入選作の公開

参考までにアイデアコンペ入選作（第1回～4回）をHPで公開しております。

テクノショールーム <http://www.conso.jp/tsr>

13. その他（留意事項）

提案図書の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。

14. 問合せ先

建築研究開発コンソーシアム事務局 担当：津久井

〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12

トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階

TEL：03-6219-7127 FAX：03-5560-8022 e-mail：idea@conso.jp

次頁に提案用紙

事務局記入欄：

提案部門 ✓をつけて下さい	課題部門「持続可能な社会実現のための建築・住宅技術 ～地球温暖化抑止技術～」	
	自由部門「上記以外の建築・住宅にかかる技術」	
提案テーマタイトル		
提案者 ^{ふりがな} 氏名（代表者）	氏名	
提案者（代表者）の 連絡先	会社名	
	部署名	
	住所	〒
	電話番号	
	E-メール	
提案者全員の ^{ふりがな} 氏名と所属 共同提案者も会員（正会員・準会員・学会員）のみとさせていただきます。 右記に書ききれない場合は、別紙にリストを作成の上、ご同封願います。	氏名	
	所属：	
	氏名	
	所属：	
	氏名	
	所属：	
氏名		
所属：		
氏名		
所属：		

ご署名欄（連絡担当者・学会員）

提案者（代表者）の会員種別 ☑をつけて下さい 正会員、準会員の方は、必ず連絡担当者の署名捺印を経て下さい。提案は連絡担当者の方がとりまとめてご発送下さい。	正会員		
	連絡担当者氏名 ご署名		印
	準会員		
	連絡担当者氏名 ご署名		印
	学会員 ご署名		印

これから入会を希望される方は、入会申込書もご提出頂きます。会員種別によって入会基準や会費が異なりますので、必ず事務局までお問い合わせ下さい。TEL：03 - 6219 - 7127

提案部門 ✓をつけて下さい		課題部門「持続可能な社会実現のための建築・住宅技術 ～地球温暖化抑止技術～」 ----- 自由テーマ部門「上記以外の建築・住宅にかかる技術」
提案タイトル		
提案概要 (200字程度)		
提案ポイント	新規性	
	実用性	
	実現可能性	
	建築や社会に対するインパクト	

提案ポイントについて

新規性：「従来の建築・住宅技術」に対する新規性について述べて下さい。

実用性：研究開発の成果が、学術研究や情報の蓄積や整理の範囲にとどまらず、都市・建築空間で実地に用いる、あるいは実際に役立つ点を述べて下さい。

実現可能性：研究開発の目標が、開発に関わる理論や知識と情報、組織や体制、資金などの面から、達成される見込み・見通しを述べて下さい。

建築や社会に対するインパクト

：生活や産業経済、建築空間に対する影響など、研究開発目標が達成され、成果が実用化した場合の建築や社会に対するインパクトについて述べて下さい。

注：こちらにご記入頂いた内容も審査の対象となります。

提案ポイント項目は審査評価基準に基づきます。